



デサントグループ
CSRレポート2017



デサントグループは、社会との持続的な相乗発展のために、CSRに対する考え方や取り組みについてステークホルダーの皆様にお伝えしご理解頂くことを目的として「デサントグループCSRレポート」と「Webサイト」を作成しています。

「Webサイト」は、CSR活動全般について網羅的に掲載し、検索性に配慮しています。

本書「デサントグループCSRレポート」は、自社で重要度が高いと判断した内容をISO26000を参照しご報告するとともに、より多くの皆様にお読み頂きたいテーマを特集ページとして取り上げています。

ステークホルダーの皆様との対話をより深めるために、特集ページでは、当事者や参加者の「Voice(声)」を大切に、楽しく読みやすいことを目指して作成しました。

本書が、読者であるステークホルダーの皆様にとって、デサントグループが果たすCSRへのご関心・ご理解の一助となれば幸いです。

企業理念

すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを

スポーツ本来の「体を動かす楽しさ」、「競い合う楽しさ」を提供することで
一人一人のいきいきとしたライフスタイルの創造に貢献します

SPIRIT OF DESCENTE (創業の精神)

創造 / Creation

豊かな発想力は、いつの時代でも発展の原動力である。
センスを磨き、日々の仕事に明確な判断を下せる力を養え。

挑戦 / Challenge

変化の時にこそ、チャンスがある。
新しいものを創り出す仕事なら失敗も覚悟のうちに入れよ。

誠実 / Integrity

信頼するものには徹底して任せる。
人の誠意に対しては、人の誠意で応えよ。

調和 / Harmony

人間が人間を知って初めて商売は成り立つ。
力を集めて前向きに"協走"せよ。

デサントグループ CSRレポート2017：目次

■ トップメッセージ	2
■ CSR方針とサステナブルミッション	3
■ インタビュー：当社のCSRの現状と今後	4
■ お客様とのかかわり 競争力の源泉：「モノを創る力」「売り場を創る力」	5
■ 地域社会とのかかわり 特集 「すこやかキッズスポーツ塾2016」	7
■ 従業員とのかかわり 特集 「デサント健康宣言」	9
■ 海外での取り組み スキー用レーシングスーツの提供が「SPORT FOR TOMORROW」の国際貢献認定事業として承認	11
■ コーポレート・ガバナンスとコンプライアンス	12
■ サプライチェーンマネジメント	13
■ 環境への積極的な取り組み	14

報告の対象期間

原則として2016年4月から2017年3月までを対象期間としていますが、当該期間以前もしくは以後の活動内容も含まれています。

国連グローバル・コンパクトの一員として



Network Japan
WE SUPPORT

デサントは、理念である「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野10原則を支持し、社会の良き一員として責任あるリーダーシップを発揮すると同時に、これから当社グループが一層のグローバル化を進めるうえで、基本となる行動指針として捉えていきます。そして、持続可能な地球社会の実現に貢献できるように、より一層、積極的に活動していきます。

株式会社デサント
代表取締役社長 石本 雅敏



デサントグループの競争力の源泉は、「モノを創る力・売り場を創る力」

株式会社デサント
代表取締役社長 石本 雅敏
(いしもと まさとし)

デサントグループは、より良い商品を創り販売するだけでなく、その商品を着用したときに生まれる嬉しさやワクワクするような気持ちをお客様に提案することにより、より多くの方がスポーツをする機会を得て、その楽しさを共有できると考えています。企業理念に掲げている「スポーツを遊ぶ楽しさ」を多くの人々に伝えていくことが、社員一人ひとりが取り組めるCSR活動であると考えます。スポーツに携わる当社グループ社員には、スポーツが好きで体を動かすことが好きな社員が多いと思います。仕事とは別に自らすすんで体を動かして、世代を超えてスポーツを遊ぶ楽しさを伝えている社員もいます。こうした自主的な活動を通じて、スポーツをする人が増えていくことを嬉しく思います。スポーツ体験型プログラム「すこやかキッズスポーツ塾」の実施活動は、子どものスポーツ機会の充実を狙い、長期にわたって全国にスポーツを根付かせて、多くの子どもたちにスポーツを遊ぶ楽しさを伝えていく活動のひとつですが、今後は同じ思いの企業やアスリート、競技団体などの連携も考えて、より広く活動していきたいと思っています。

グループ各社のCSR活動を統括する目的で、2018年3月期よりCSR室を社長直下の組織とし、グローバルな視点でグループ各社の活動のプランを立案し、アドバイスできるようにしました。2017年3月期には各事業会社でリスクの顕在化を行い、各社の倫理綱領を作成しましたので、2018年3月

期はその徹底を図っていきます。CSR活動は社会との接点であり、活動の推進母体となる各事業会社が、より密接な地域社会との関わりを大切にしていく必要があります。グループ全体で情報を共有して、的確なCSR活動の指針を伝えられるようにしていきます。

デサントグループは、ステークホルダーから信頼されて存続していく企業でありたいと考えます。そのためにまず、グループとしての強み、競争力の源泉をしっかりと確立しておく必要があります。この源泉となるものが、「モノを創る力・売り場を創る力」であると考えます。お客様のご要望を伺い、それにお応えするために技術と発想力で、常に新しい商品を開発して、新鮮で驚きがあり、楽しく買い物ができる売場を創り、お客様に満足いただける商品をお届けできるようにしていきます。そして、グループ社員のモチベーションがひとつとなって動いていることが大切です。スポーツを遊ぶ楽しさを多くの人々に伝えていく企業理念を、グループに浸透させて、社員が理念に基づいて企業活動を推し進めていけるようにしていきます。

これからもグループ各社が、ステークホルダーとの継続的なコミュニケーションを大切にし、多くの人々にスポーツを遊ぶ楽しさを提供して、社会の持続的な発展と共に成長を続けられるように推進していきます。

デサントCSR方針

- ▶ デサントグループは、企業理念に基づき、スポーツを通じて人々の身体と心を豊かにし、健全なライフスタイルの創造に貢献します。
- ▶ デサントグループは、経済・社会及び環境との関わりの中で求められる期待に、事業活動を通じて応えることによって、社会とともに持続的な相乗発展を目指します。
- ▶ デサントグループは、「デサント倫理綱領」に基づき、国内外において人権を尊重し、関連法令及び国際ルールを順守しつつ、高い倫理観と向上心を持って行動します。

2012年4月1日

デサントの考えるCSR

「変化する社会の要求に対して、事業を通じて果たすべき役割」

サステナブルミッション

ISO26000の7つの中核主題をベースにし、持続可能な開発目標(SDGs)を組み込んだCSR活動を行っていきます。

1. 誠実な企業活動

ステークホルダーの皆様の信頼にお応えるために、「コーポレート・ガバナンス」「内部統制」の体制を構築し、企業の持続性の維持と企業価値の向上を目指すための取り組みを進めます。

2. 人権の尊重

デサントは「デサント倫理綱領」に定めたように、社員及び当社と関係する全ての人々が、仕事を進めるのに直接関係のない、出身地、男女の別、年齢、身体上のハンディキャップなどを理由として嫌がらせや差別を受けることがないようにします。

3. 従業員とのかかわり

デサントは、安全かつ衛生的な職場環境の構築に向けて、定められたルールの遵守を徹底し、労働災害の撲滅を目指し、健康管理を行い、豊かな発想と挑戦意欲を発揮できる企業風土を実現していきます。

4. 環境との調和

デサントは、環境経営の指針として「デサント環境基本理念・デサント環境方針」を定め、環境保全活動を推進し環境負荷・環境リスクを低減するとともに、それらの発生を予防するための行動を積極的・継続的に行っていきます。

5. 公正な事業慣行

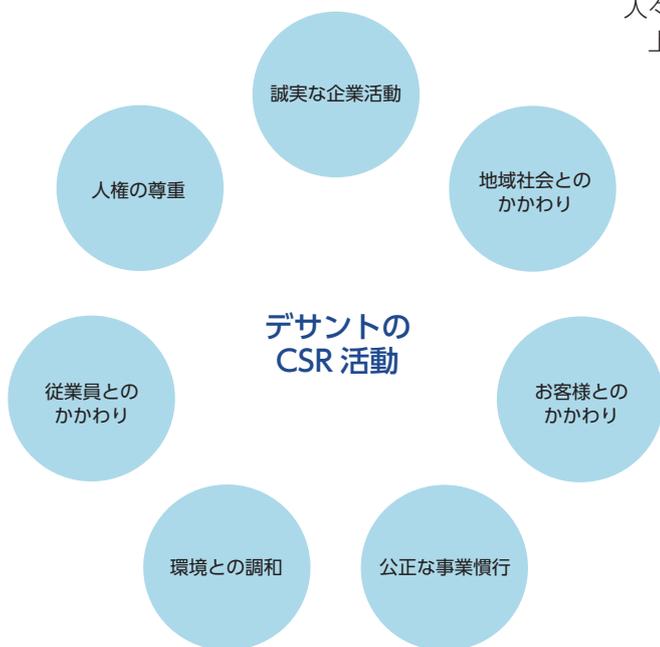
デサントは、サプライヤーの皆様と公正なパートナーシップを築き、人権や労働条件の改善、環境保全に協力し、共に発展していきます。

6. お客様とのかかわり

デサントは、スポーツを愛する世界中のお客様をサポートするため、常に安全で高機能・高品質なスポーツウェアづくりに努めます。

7. 地域社会とのかかわり

デサントは、スポーツを通じたイベント活動やキャリア教育により、未来を担う子どもたちや学生、地域住民の皆様と心を豊かにし、健全なライフスタイルの創造に貢献していきます。



デサントグループの事業規模の拡大とともに、社会からの期待も増大しています。この状況において、有効なCSRの進め方はどのようなものかをCSR室長に聞きました。

デサントは、創業の時より「良き企業市民」としての社会的責任を「創業の精神」に込め行動してきました。やがて事業の規模が拡大し、活動の範囲が大きく海外にシフトした段階で、それまでよりも一段と大きな期待と要請が社会から寄せられるようになりました。中期計画「Compass 2015」がスタートし、連結売上高1,000億円、海外売上高比率50%に迫った時がその時期だったように思います。

今日のステークホルダーは、自分たちが関心を持っている企業の業績に目を向けるだけでなく、その企業が、社会から寄せられる期待に対して関心を持ち期待に十分に応えているか、または自分たちの製品が作られている作業現場の状態を知っているか、隅々まで最適なバリューチェーンが構築されており従業員は働き甲斐のある仕事をしているか、事業活動の過程で発生する環境影響について評価しているか、事業活動を展開する地域や社会に対して恩返ししているか、といったことも企業価値を計る材料として重要視するようになってきました。

このような期待や要請に応えるためには、CSRに対する当社の考え方や取り組みが、CSRの世界的な潮流を取り込んだものであることが好ましいと思います。また、情報の開示にあたっては活動の有効性が客観的に証明できることも大切です。そのために当社が行ってきたこととして、ISO14001の認証継続、国連グローバル・コンパクトへの署名、SFTC(スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム)などの社会的活動への参画、ISO26000に沿った活動の再考、WFSGI(世界スポーツ用品工業連盟)やUAゼンセン(全国繊維化学食品流通サービス一般労働組合同盟)、NPOとのコミュニケーションが挙げられます。これらはまだ始めたばかりであり、お世辞にも整備されているとは言えず、各取り組みの奥行きや社内外への発信と周知は十分ではありません。より深堀していくことが今後に向けての重要な課題です。

CSR先進企業と言われるいくつかの会社を見ても、CSRを社内に理解させ根付かせるには多くの時間と労力を費やしています。CSRとは何か?については説明するのも難しいし理解するのも易しくありません。理解している人たちが一方的に先に進めるばかりでは、理解し切れていない人たちとの距離は開くばかりです。CSRを社内に浸透させるには、経営トップに強く意識していただくこと、それをテコにしてボトムアップで推進すること、社員の方には教えるのではなく、共に考え学んでもらいたいと考えています。



株式会社デサント
CSR室 室長
加藤吉幸

日々の仕事を進める中で、従来のビジネス視点だけではなく、CSR視点で取引先と話をしたり、提案したり、物事を考えることが、サステナブルな時代においてはとても大切になり、それができている会社が持続的な発展を遂げるのではないのでしょうか。

またこれからは、今までのように企業価値を守るため「バリュープロテクション型CSR」を行いながらも、企業価値を創造する「バリュークリエーション型CSR」をプラスすることが会社全体の飛躍につながると言われています。「バリュークリエーション型CSR」の実現を目指し、社会的な課題を自社の強みで解決する新たな事業機会を創造しなくてはなりません。

CSR重点目標

- グローバル視点でのCSR活動の推進
- サプライチェーン労働CSRの発展
- 子会社を含むリスクマネジメント、コンプライアンス体制の推進
- 環境保全活動の拡張
- 社会貢献活動の集中化と新規取り組みの創出
- 海外子会社と連携したスポーツを通じた国際貢献の実施
- CSRの方向性をバリュープロテクションからバリュークリエーション(CSV)にシフトする

デサントは、スポーツを愛する世界中のお客様をサポートするため、常に安全で高機能・高品質なスポーツウェアづくりに努めています。

競争力の源泉：「モノを創る力」「売り場を創る力」

デサントの競争力の源泉はスポーツウェアの開発力です。お客様のご要望を聞き、それにお応えするために技術と発想力で、常に新しい商品を開発します。商品をお届けする売り場は、単なる販売の場ではなく、お客様との重要な接点であり、デサントからの情報の発信地でもあります。デサントは新鮮で、驚きがあり、楽しく買い物ができる、そんな売場を創ります。「モノを創る力」と「売り場を創る力」を高めて、お客様に満足いただける商品をお届けしていきます。

モノを創る力

デサントの強みは、高機能・高品質でデザイン性に優れたスポーツウェアの企画開発力です。現在、グローバル市場に向けた高機能商材の開発を進めるとともに、国内工場の能力を増強して開発力強化と生産力拡大を図り、「モノを創る力」を向上させています。

「One Thing by Munsingwear」春夏用ポロシャツが「J ∞ QUALITY」認証を取得

2016年6月に発売した「One Thing by Munsingwear」シリーズの春夏用ポロシャツは、生産工程のすべてで日本の高度な技術を結集し、丁寧な縫製やゴルフを考慮した立体的な設計で動きやすさを確保しています。春夏用として、ウェアの温度上昇を抑えるクーリング機能に加え、UVカット機能も持つ素材を使用しました。

本商品は「純正の日本製で、仕上がりの繊細さや丁寧さを持ち、安心して購入できる商品の証」として「J ∞ QUALITY (ジェイ クオリティ)」認証[※]を取得しました。本シリーズでは、2015年9月にも素材違いのポロシャツが同じく認証を取得しています。

※「J ∞ QUALITY」認証：経済産業省の指導の下で、日本のアパレル需要の創造と繊維・縫製産地の活性化を目指す、オールジャパンのプロジェクト。日本ファッション産業協議会を中心として、2015年2月からスタートした。



「One Thing by Munsingwear」(ワンシング バイ マンシングウェア) 春夏用ポロシャツ(左：男性用、右：女性用)

「デサント・デザインアワード」を継続して実施

開発力・デザイン力の向上を目的とした社内コンテスト「デサント・デザインアワード」を2015年6月から半期に一度、実施しています。スポーツアイテムとしての機能性・新規性・トレンド性の観点から、最も優れたデザインのアイテムを投票で選考します。2016年秋冬商品が対象の第3回を2016年7月に、次いで2017年春夏商品を対象とした第4回を2016年12月に行い、それぞれファッション誌・スポーツ誌の編集担当者やスタイリストなど約130名の投票によって、最優秀賞と優秀賞を決定しました。

今後も、外部の表彰制度への参加に加えて社内コンテストを継続して実施し、多くのお客様に喜んでいただけるよう、商品の開発力・デザイン力を高めていきます。



「デサントプレス会」での商品展示風景

▼ 第3回受賞作品 (2016年7月開催)



最優秀賞

ブランド：ルコックスポルティフ
商品名：「CHARI&CO」×
「ルコックスポルティフ」
チームピブパンツ、チームジャージ
デザイナー：伊藤 良太
(いとう りょうた)



優秀賞

ブランド：マーモット
商品名：1000 Restar Down
Parka (1000 レスター
ダウン パーカー)
デザイナー：佐藤 史佳
(さとう ふみよし)

▼ 第4回受賞作品 (2016年12月開催)



最優秀賞

ブランド：ルコックスポルティフ
商品名：サイクルテラードジャケット
デザイナー：伊藤 良太
(いとう りょうた)



優秀賞

ブランド：デサント
商品名：タフデニムWB ロング
パンツ
デザイナー：岡野 哲大
(おかの てつた)

売り場を創る力

中期経営計画「Compass 2018」の重点戦略のひとつ「直営店と自主管理店舗の出店を推進」に沿って、商品企画力・接客販売力・VMD(ビジュアル・マーチャンダイング)による表現力などの向上を図り、お客様と各ブランドの最も重要な接点となる「売り場を創る力」を強化しています。

戦略的・魅力的な売り場の新店舗

▶ 『デサント』ブランドの中国一号店

当社の関連会社「Descente (China) Co., Ltd」が、『デサント』ブランドの一号店を中国東北部の長春市にオープン。当社が2020年に目指す姿「VISION2020」に掲げた同ブランドの目標「アジア発祥ブランドとして、アジアでのアパレル売上高No.1へ」に沿った出店です。近隣にはスキーリゾートやアウトドアなどの観光スポットが広がり、プレミアムパフォーマンスブランドとして『デサント』をアピールしていきます。



DESCENTE Shop
Changchun Charter Shopping Center
(デサント ショップ チャンチュン チャーター
ショッピングセンター)
中国吉林省長春市
2016年8月5日オープン

▶ 「DESCENTE BLANC(デサント ブラン)丸の内」

『デサント』ブランドの直営店「DESCENTE BLANC」の4店舗目となる「DESCENTE BLANC 丸の内」を東京・丸の内にオープン。ビジネスの中心地でファッション感度の高いビジネスパーソン向けに、「デサント オルテライン」を核として、「デサント ポーズ」「イノヴェイト」などを展開し、「DESCENTE BLANC」の魅力を伝えています。オープン当日は、他セレクトショップとコラボレートしたランニングイベントも開催しました。



DESCENTE BLANC
(デサント ブラン)丸の内
東京都千代田区丸の内
新丸ビル4F
2016年9月16日オープン

アリーナショップ 東京
東京都渋谷区神宮前
海老名ビル
2017年3月16日オープン

▶ 『アリーナ』ブランドのグローバル旗艦店

グローバル旗艦店「アリーナショップ 東京」を東京・原宿にオープン。ウォータースポーツ愛好者のライフスタイルシーンをサポートするため、スイムウエアに加えカジュアルにも着られるスポーツライフスタイルウエアなども展開しています。テーマを設けたシーズンごとのVMDによる店舗演出のほか、「水」をテーマにしたトークショーをはじめとするイベントの開催など、様々なアクティビティも行っています。

従業員スキルアップへの取り組み

▶ 第29回全国優秀店舗表彰式

全国約500の売り場を担当する約1,000名のセールスコーディネーター (SC: 販売職) の能力向上やモチベーションアップを目的に、「売上高、予算比、昨年比」など定量面と、「店頭の仕掛け、チームワーク、顧客からの評価」など定性面を基に優秀店舗を選出のうえ、表彰しています。第29回の表彰式では、代表取締役社長の石本雅敏から、2016年6月より550名に及び契約社員の販売職正社員化が発表され、顧客満足度のさらなる向上につながっています。



2016年5月25日に開催した表彰式

▶ 第8回「全国SCロールプレイング大会」

販売職に接客の成果発表の場を設け、スキルアップと顧客満足度の向上を目的に2009年から開催する本大会は、今回は「顧客につながる接客～顧客獲得のために顧客カード(モバイル会員等)をお勧めする～」をテーマに取り上げました。全国の直営店・百貨店・専門店などで接客する36名による予選を通過した14名が、大阪での決勝大会に進みました。今後も社員のスキルアップを図り、「売り場を創る力」を磨いて顧客満足度の向上に努めます。



2016年11月10日に大阪で開いた決勝大会

▶ 販売職社員による工場見学研修

日々、取り扱うブランドへの知識を深め、接客販売力を向上させるため、販売職社員の工場見学を実施。「J ∞ QUALITY(ジェイ クオリティ)」認証商品も取り扱う国内3カ所の提携先工場を訪問し、生産工程の複雑さ・精密さや現場スタッフの「いい製品を届けたい」との熱い想いにふれて商品への思い入れを深め、「一点一点を大切に販売したい」と決意を新たにしていました。社員の能力アップにつながる研修で「売り場を創る力」を向上させます。



2016年9月13・14日の見学でポロシャツのボタン付けも体験

社会貢献活動の目標として定めた「子どものスポーツ機会の充実」に沿い、運動不足になりがちな小学生たちに、「体を動かす楽しさ」を体験してもらう「すこやかキッズスポーツ塾」の開催に取り組んでいます。

特集

「すこやかキッズスポーツ塾 2016」

後援：スポーツ庁・各地域の教育委員会



すこやかキッズスポーツ塾とは、「子どもたちがスポーツを好きになり、健康になってもらうこと」を目指す、児童向けスポーツ体験型プログラムです。元オリンピック選手などトップアスリートを塾長に迎え、スポーツをする機会が減り体力・運動能力が低下傾向にある現代の児童に、レベルの高いスポーツ体験の機会を提供します。参加費は無料です。

デサントグループでは、2015年度より社会貢献活動の方向性を「子どものスポーツ機会の充実」と定め、全国の小学校を対象として本プログラムを開催して、スポーツをする機会を増やす活動を積極的に推進してきました。2016年度は岩手県・宮城県・福島県の10校、大阪府と東京都で8校、計18校で実施しました。

今回のプログラム内容



■学校訪問 塾長・田中 光 氏

博士(学校教育学) 流通経済大学社会学部教授
アトランタオリンピックに出場し、平行棒でオリジナル技(F難度)を発表。世界選手権 銀・銅メダリスト。現在は幼児小児教育・健康教育などをテーマとして研究・指導する。

田中光塾長が訪問した学校では、塾長自ら考案した「リズム体操」を行い、各学校の要望に沿って「マット運動」「跳び箱」を併せて実施しました。「リズム体操」では、舞台上上がった塾長は軽くウォームアップをしながら、先ず児童たちに体操のポイントを説明します。音楽がスタートすると児童たちは塾長の動きに合わせて、約20分間、身体を動かします。塾長はこのプログラムを通じて、児童たちに身体を動かす楽しさと、あきらめないで努力する大切さを指導しています。プログラム終了後に、各学校には教材として使用した動画DVDをお渡しして、学校が後日、独自でプログラムを継続して実施できるようにしています。デサントでは、できるだけ多くの児童がプログラムを体験し、スポーツを遊ぶ楽しさを実感する機会が持てるよう、今後もこうした活動を続けていきます。



岩手県奥州市

学校名	実施日	プログラム
若柳小学校	2016年11月14日(月)	姿育体操*
南都田小学校		姿育体操
胆沢第一小学校	2016年11月15日(火)	リズム体操・マット運動・跳び箱
胆沢愛宕小学校		リズム体操・マット運動

大阪府大阪市

学校名	実施日	プログラム
築港小学校	2017年2月2日(木)	リズム体操・マット運動・跳び箱
長吉出戸小学校		リズム体操・マット運動・跳び箱
瓜破小学校	2017年2月3日(金)	リズム体操・マット運動・跳び箱
明治小学校		リズム体操・マット運動

宮城県仙台市

学校名	実施日	プログラム
原町小学校	2016年11月28日(月)	リズム体操・跳び箱
片平丁小学校		リズム体操・マット運動
松森小学校	2016年11月29日(火)	リズム体操・マット運動
幸町小学校		リズム体操・マット運動

東京都中野区

学校名	実施日	プログラム
平和の森小学校	2017年2月13日(月)	リズム体操
江原小学校		リズム体操・マット運動
桃園小学校	2017年2月14日(火)	リズム体操・マット運動・跳び箱
向台小学校		マット運動・跳び箱

福島県南相馬市

学校名	実施日	プログラム
原町第二小学校	2016年12月13日(火)	リズム体操・マット運動
大甕小学校		リズム体操

※姿育体操

運動不足や子どもを取り巻く環境が原因となり、姿勢の悪い子どもが増える中、「子どもの姿勢改善と集中力向上」の予防・改善・向上を目的に作られた、子ども向け姿勢改善体操プログラム。



関係者の「Voice」



026

実施小学校
奥州市立若柳小学校
校長
長野 圭二 氏

奥州市内にデサントアパレルの水沢工場があるので、子どもたちにとってデサントは身近なメーカーです。講師の素晴らしい指導の下、姿育体操では、子どもたちも教師も姿勢の大切さを楽しく学びながら身体を動かしました。スポーツ塾の内容と「夢をもつことの大切さ」とのつながりがやや弱く感じたので、子どもたちに、もう少し分かりやすく伝えてもらえればベストです。



028

実施小学校
仙台市立
原町小学校 校長
長谷 一哉 氏

当校はオリンピック・パラリンピック教育推進の指定校としての取り組みを進めるとともに、目指す児童像に「汗出せ(体)・知恵出せ(知)・勇気出せ(徳)」を掲げ、特に「汗出せ(体)」を知育と徳育の土台と捉え、健康教育に力を入れています。スポーツ塾でさりげなく運動のコツを教わり、主体的に動こうとする子どもたちの姿に、体育の授業のあり方を考えさせられました。



027

実施小学校
奥州市立
胆沢愛宕小学校 校長
西館 修 氏

自然に恵まれた地域で生活していても、子どもたちの外遊びが減る中、本校では「たくましい心と体」を持つ児童の育成を目指しています。トップアスリートの方に間近で指導してもらえる機会はめったにないので、強く印象に残る体験でした。今後はアスリートの方の熱い想い、挫折とその克服など、子どもが共感したり憧れを持てるお話しやエピソードを聞ける時間があると、ありがたいです。



029

実施小学校
仙台市立
片平丁小学校 校長
成田 忠雄 氏

田中先生のテンポよい指導に子どもたちが引き込まれたばかりか、参加した教師も「こんな指導方法があるのか?」と逆に学んだことが多かったのではないのでしょうか。大部分の子どもは、体育の時間を通じてスポーツをするくらいです。生涯スポーツの観点で考えると、子どものときから運動する楽しさを知り、末永く体を動かしていくことが、これからの社会に必要なと思います。

Supporters



030

主催社スタッフ(新入社員)
株式会社デサント
海外業務部 海外業務1課
西角 愛加

私自身も子どもたちと一緒に身体を動かし、当社の社会貢献活動の内容を理解できました。日頃からスポーツに親しむ子どもが想像以上に多かったのも印象に残っています。訪問先では「自分も運動したい」と望む、参加できなかった他学年の子どももたくさんいました。子ども向けプログラムなので、参加したいと思えば誰でも自由に参加できる、もっと開かれた内容にするとういのでは、と思います。



031

主催社スタッフ(新入社員)
株式会社デサント
経理・管理室 経理課
齋藤 良伎

スポーツ塾には、子どもたちのスポーツ促進というCSR上の目的があります。同時に、スポーツメーカーとしての役割を果たしつつ、デサント自体を知ってもらい、さらに田中先生などスポーツ関係者とのつながりを強くする意味もあると感じました。単に企業の義務であるCSRとして活動するのではなく、そこに複数の目的・意味を持たせて推進することが重要だと思います。

Organizer



032

主催社
株式会社デサント
スポーツマーケティング部
スポーツマーケティング1課
山川 悦子

「すこやかキッズスポーツ塾 2016」のレビューと今後、目指す姿

現場で得た、関係者の反応を受けて

訪問先で「歓迎」看板を見たり、児童の元気な挨拶を聞くと、スポーツ塾を心待ちにしている様子がわかり嬉しく思いました。学校の選定は教育委員会の協力も得ますが、抽選で決める場合もあり、好評さがうかがえます。田中塾長からの、日本体操協会と連携して活動をさらに広めたいとの意見や、「姿育体操」の各塾長による参加の継続希望も受け、実施内容の拡充を図っていきたいです。今回は新入社員をサポート役として初めて参加させましたが、今後も新人研修の一環として続けます。

社会の要求を取り込むプログラムづくりへ

スポーツ塾は、デサントの企業理念を具体化する活動のひとつです。プログラム内容も児童への実演指導だけでなく、教師やご家族に対する講座の開催も検討して、さらに充実させる必要があるでしょう。社会の要求を取り込み、よりよいプログラムづくりに向けて関係先と連携を図り、よい指導者の下での実施を目指します。

デサントはスポーツ関連企業として、健康で生き活きと働ける職場づくりを目指す「デサント健康宣言」を行うとともに、従業員が主体的な健康維持に取り組める「デサント従業員 10の目標」を掲げ、一人一人の健康管理を組織で支えています。

特集

「デサント健康宣言」

デサントは、企業理念に基づき、スポーツを通じて人々の身体と心を豊かにし、健全なライフスタイルの創造に貢献する企業として、従業員の健康こそが会社の原動力であるとの信念を持って経営を行っています。そのために、安全で快適な職場の提供は勿論のこと、働き方改革を推進してワークライフバランスのとれた生活の実現を行い、健康管理面での各種支援を促進することで従業員一人一人の健康を組織で支え、「生き活きと笑顔で働ける職場づくり」を目指すことを宣言します。

2016年9月16日

株式会社デサント 代表取締役社長 石本 雅敏

「デサント健康宣言」にあたって

スポーツに関わる企業として、働く我々自身が健康でなくてはなりません。

我々が健康であるために、「デサント従業員10の目標」を掲げました。今5つ達成できている人は、それを8つ、9つにするように、1つでも多く達成することを目標にしてほしいのです。「デサント健康宣言」をサポートするために、現在、会社で進めている取り組みは、不健康にならないよう、または不健康になってしまったときのための受動的な内容が多いのですが、今後は「ひと駅歩こう運動」のように、より能動的に健康になれる取り組みを実施していきたいと思えます。



株式会社デサント 代表取締役社長
石本 雅敏

インタビュー



株式会社デサント
取締役 常務執行役員
Chief Health Officer (CHO)
辻本 謙一

● 社内体制と取り組み概要

当社が健康経営を進める上で健康管理体制と働き方改革が、重要ポイントです。2008年に働き方改革宣言を発信し、2010年に保健師を初めて採用したことから、当社の健康管理体制はスタートしました。現在では、保健師5名、衛生管理者1名でグループ約2,300名の健康管理に対応しています。

● 現状と目標とする状態

社員が健康な状態で生産性を高めるのが最終目標です。何かしらの病気を持つ社員には、まず治癒していくように啓蒙し、サポートしています。過去には、重症化してから病院に行く社員が多かったため、早く治療に取り組んでもらうよう

勧めています。

働き方改革については、まだ改革途上で、健康管理と両輪で健全な働き方を進めていくことが重要であると考えています。当社の社員は保健師の助言や忠告を真剣に聞くので、この長所を活かして、社員の健康管理を的確にサポートできる体制をつくっていきます。

● 注力していきたい分野

働き方改革宣言の施策のひとつである水曜日のノー残業デーがようやく浸透してきたところで、まだまだ取り組むべきことがあります。部署別の働き方に関する労使協議会も行い、社員の働き方に改革を起こしていきます。

働き方改革の最終目標としては、残業なしで成果が出せる状態に持っていくことであり、健康管理の目標は、社員が在職中に亡くなるという最悪の事態を絶対に起こさないことです。社員が健康な状

態で仕事ができるように、健康管理を社員に任せるだけでなく、会社が支援する体制をつくっていきます。

● 推進に向けた意気込み

経済産業省と東京証券取引所が選定する「健康経営銘柄」に2015年から申請しています。申請に向けた準備は、当社に必要な要素を体系立てて示してくれました。この気付きが非常に有意義でした。

社員と販売員の健康診断の受診率100%という実績は誇れる数値であり、健康診断の結果を踏まえて、会社が行う就業判定への社員の対応は、非常に真剣で前向きです。健康経営は会社の経営のためだけにあるのではなく、健康管理を推進することで社員の健康に対する考え方が変わっていくことが目的。社員自身の将来のために推し進めていきたいと思えます。

デサント従業員 10の目標

目標① バランスの取れた食事をとる	目標⑥ 歯を清潔に保つ
目標② 適度な運動をする	目標⑦ 健康診断は必ず受診する
目標③ 睡眠時間を確保する	目標⑧ 健康診断の結果内容に従う
目標④ 禁煙	目標⑨ がん検診を利用する
目標⑤ 節酒	目標⑩ 産業医、保健師からの助言を活用する

関係者の「Voice」

Health Manager



033

健康管理担当
人事・総務室人事課／保健師
市口 リエ

社員の健康管理が、会社の経営課題になる仕組みづくり

2010年に当社初の保健師として入社しました。当時は、健康管理の仕組みは未整備のことが多く、健康診断の受診や就業規制なども整備されていませんでした。私はまず社員一人ひとりに対して、正しい健康管理をサポートしていきたいと思いました。

企業における健康管理の理想的な形は、病気をすべてなくすのではなく、サポートを必要としている社員にすばやく支援を差し伸べ、正しい治療を安心して選択できるような健康管理が整っている状態です。さらに、休職中の業務のカバーリングが可能

で、復帰時にはきちんと仕事を進められる支援体制ができていることも重要です。また、保健師が社員と同じ方向を見て、一緒に取り組める健康管理を目指していかなければなりません。

そのためにも、一元管理ができる健康管理システムを導入して、会社にも役立ち社員にも役立つ、適切な健康管理を構築する必要があります。社員の健康管理が、会社の経営課題の重要な要素のひとつになるような仕組みができあがるのが理想です。

Planners



034

「ひと駅歩こう運動」
企画立案担当:活性化委員会
河上 恵美子／矢吹 彩／高野 正晃／
日野 智也 (写真左より)

社員が参加しやすく楽しめる企画で企業理念をさらに浸透

ビジネス・事業・組織・風土について社内を活性化させる提案を行う「活性化委員会」から、「ひと駅歩こう運動」を提案しました。企業理念『すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを』を社員にもっと浸透させたいという想いで、できるだけ多くの社員が参加しやすく、楽しみながら継続できる企画として、「ひと駅歩こう運動」を考えたのです。東西オフィスの健康管理室とも連動して、社員がエントリー後に自分の実施状況が把握できるように、簡易なエクセルシートを利用した集計方法も採用しました。これがきっかけとなり、社員がスポーツをする機会が増えて、「スポーツ本来の「体を動かす楽しさ」」を実感して、健康になり、仕事が活性化していくことが委員会のねらいです。

「ひと駅歩こう運動」集計表

Participants



035

「ひと駅歩こう運動」
エントリー社員
ルコックスポルティフ
ABMゴルフ
渡部 絢子

食事に気を遣い、
運動を取り入れた生活を送る

「ひと駅歩こう運動」のスタート前から通勤で池袋～目黒を歩いてたうえ、歩行距離を記録できることもあり、エントリーしました。毎日、朝と夕方にリフレッシュできます。「健康宣言」では、スポーツメーカーとして、まず社員が健康でないといけないし、「健康」のあり方も食事に気を遣うだけでなく、運動を取り入れた生活が大切だと考えます。「10の目標」は、バランスの取れた食事を意識しているものの、つい食べたいものに手を伸ばしてしまうことがあります。三食きちんと摂るのももちろん、栄養バランスを考えた食事をしていきたいです。



036

「ひと駅歩こう運動」
エントリー社員
販売推進部業務推進2課
木村 雅人

当社の原動力は、
社員の健康と笑顔

今まで通り過ぎていた街を「ひと駅歩こう運動」で歩くと、新たな発見があります。週末にウォーキングを実施していたので、歩くのに抵抗はありませんでした。企画終了後は、通勤経路の中でいろいろな区間を歩いてみたいです。「健康宣言」については、当社はスポーツ健康産業なので、従業員の健康が会社の原動力という考え方は理解できるし、いつまでも健康かつ笑顔でいることが、高齢化が進む当社の原動力になると思います。「10の目標」では、食事・運動・睡眠に気を付けているものの、禁煙・節酒は実現できていません。これからは、がん検診に注意を払っていききたいですね。

スキー用レーシングスーツの提供が「SPORT FOR TOMORROW」の国際貢献認定事業として承認

「SPORT FOR TOMORROW」国際貢献認定事業の概要

実施期間：2016年10月～2017年3月

対象団体：Special Olympics Switzerland

実施内容：株式会社デサントは、2017年スペシャルオリンピックス大会のスイス代表チームにスキー用レーシングスーツを18着寄付しました。当社は約40年間にわたりスイススキー協会との信頼関係を築き、各種スキー団体やオリンピック代表へのサポートを通して、アスリートの限界への挑戦やスポーツを愛する人々の熱き想いを支えてきました。今回、提供したレーシングスーツは、当社が培ってきたモノ創りのノウハウを結集し、選手一人ひとりの体型に合わせて製作しました。

SPORT FOR TOMORROW (SFT) とは

開発途上国をはじめとする100カ国以上・1,000万人以上を対象とした、スポーツを通じた国際貢献事業。日本政府が推進し、期間は2014年から東京オリンピック・パラリンピック開催の2020年まで。デサントは2015年にSFTを運営するSFTコンソーシアム会員に加入した。



スペシャルオリンピックス・スイス代表チーム

▶ 担当者インタビュー ◀

株式会社デサント
デサントBM/ブランディング
安斎 貴晴



● 今回のウェア提供のきっかけは何でしたか？

スキーのレーシングスーツ開発で協力してもらっているスイスの会社から、スペシャルオリンピックスのスイス代表チームを紹介されました。チームと直接会って内容を確認し、スイスナショナルチームとの長年の良い関係もあり、スイス代表チームへレーシングウェアを提供しました。

● 提供にあたって通常のチームとは違った対応はありましたか？

基本的な採寸方法はスイスアルペンチームと同様でしたが、アルペンとは違った体型の選手が数名いましたので、レーシングスーツに関しては現地の協力会社にも実際の細かな採寸をお願いし、スキーウェアに関しては、そのデータを元に国内で特殊体型の選手にフィットするよう、型紙の変更を設計チームと行いました。

スペシャルオリンピックスは知的障害のある方々の大会であり、通常のアスリートの体型と若干サイズ感が違い、細かい対応が求められました。数字だけの情報ではなかなか着用感などをイメージできず、グレーディング（型紙を作る）作業も難しさがありました。型紙に合わない体型の選手にはスペシャルメイク（別注）対応をするなど、サプライする選手たちに満足してもらえるよう細部まで考慮した対応となりました。

● 特に気を付けたり、大変だったことは何ですか？

現地とのコミュニケーションです。選手に直接会えない中で、サイズの詳細な情報やウェアの仕様に関してミスコミュニケーションがないよう、何度も先方の担当者となり取りしました。また、社内で設計や生産に関わった方々への情報伝達も難しさがありました。フォローしてもらえたことに感謝です。

● 提供したウェアについてチームの反応はどうでしたか？

納品後、先方より選手の着用写真等をもらい、ウェアのクオリティーや着用感に大変満足しているというコメントも頂戴しました。

● 今回のような活動に関して今後の計画はありますか？

具体的な計画はありませんが、会社の今後の方針とも合致させたり、オリンピックムーブメントを踏まえたSFTでの動きや、グローバルなスポーツブランドとして社会的にも認知してもらえるように動いていきたいと思っています。

● その他、今回、何か感じたことがありましたら。

スペシャルオリンピックスは認知度が高いとは言えませんが、このような大会の存在をもっと知ってもらえたらと思います。また、すべての人々がスポーツを通して生きがいや、楽しさを得ていることを改めて実感しました。今回のサプライに関わって頂いた方々に変感謝しています。



関係者の「Voice」

スペシャルオリンピックス・スイス代表チームのメッセージ

スペシャルオリンピックスは知的障害を持った子供や大人のための世界で最も規模の大きいスポーツ団体です。我々、スペシャルオリンピックス・スイスは年間を通し、国内の選手に対して練習や大会のサポートをしています。知的障害を持った人々への理解、受容性、平等をビジョンとして持ち、スポーツを通して選手たちの人生を豊かにしていくことを目指しています。直近では冬季競技の世界大会として「スポーツと博愛のイベント」が2017年3月14日～25日の間、オーストリアにて開催されました。

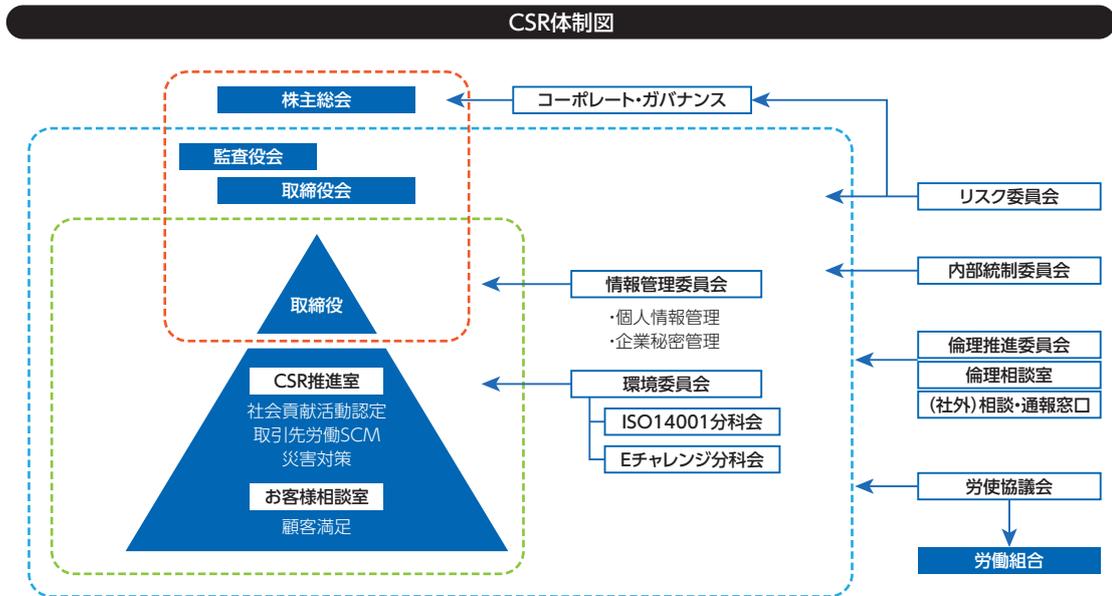
今回スイススキーナショナルチームのオフィシャルサプライヤーである株式会社デサントより実際のプロ選手たちが着用しているハイクオリティーなレーシングスーツとスキーウェアを提供して頂いたことに大変感謝しております。我々が母国スイスを代表するスポーツ機関の一員であることを示していることを大変喜ばしく思います。

ステークホルダーの皆様の信頼にお応えるために、「コーポレート・ガバナンス」「内部統制」の体制を構築し、企業の持続性の維持と企業価値の向上を目指すための取り組みを、相互に関連を持たせながら進めています。

コーポレート・ガバナンス

「すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを」—この企業理念に則り、法と企業倫理に従い、誠実で公正かつ透明に事業活動を展開することが、企業の社会的責任であると認識し、コーポレート・ガバナンスの充実に向けた取り組みを通じて企業価値を継続的に高めることを、経営上の最も重要な課題のひとつとして位置付けています。

その実現のために「デサント倫理綱領」「デサント倫理行動基準」を定め、株主の皆様やお客様をはじめ、お取引先、地域社会、従業員など様々なステークホルダーとの良好な関係を築くとともに、株主総会、取締役会、監査役会、会計監査人などの法律上の機関に加えて、様々な手段を講じてコーポレート・ガバナンスの充実に努めています。



コンプライアンス

企業活動において根本となる姿勢を「デサント倫理綱領」に定める一方で、社員一人ひとりが、働く上で指針とすべき基準を「デサント倫理行動基準」として定めています。これらの順守を推進するために倫理推進委員会を設置し、健全で品格に富む企業風土の醸成に努めています。また、職制を通じた解決が難しい問題、あるいはほかの社員の倫理に反する行動などの相談に対処するため、社内には「デサント倫理相談室」、社外には法律事務所を相談窓口として設けています。

2016年度 倫理推進委員会活動

- 開催 : 5月、7月、9月、2017年1月
- 主な内容 : 各部署の倫理的問題に対するルールづくりと全社研修の立案
- 分科会 : 3つのグループに分かれてそれぞれのテーマについて検討
開催は随時。総括は2016年2月
- 4月 : 経営層向けコンプライアンス研修を実施
- 10月 : 全社コンプライアンス研修を実施
- 随時 : 販売員コンプライアンス研修

リスク管理

当社に重大な影響を与える事態の発生防止と万一の発生時の損害・影響の最小化、ならびに事業の継続性および業務の適正性の確保を目的に、「リスク管理規程」「リスク管理運用規則」を定めています。これらに則り、リスク委員会ではリスク全般を可視化し、予防と発生時の対策の整備を行い、対策の実施状況に対する担当

取締役の監視とレビューの後、取締役会に報告します。

2016年度におけるデサント単体の重大リスク対象は46項目あり、このうち2項目のリスクが顕在化し、対策と改善を実施しました。

情報管理

「企業秘密管理規程」「企業秘密管理基準」制定するとともに、内容をわかりやすくした「企業秘密ガイドブック」を全管理職に説明のうえ、管理・徹底を促進しました。また、デサントが保有する個人情報及び特定個人情報の適正な保護を実現することを目的として「個人情報保護規程」「個人情報保護規則」に方針を定めています。毎年、一斉に「全社の個人情報棚卸し」を実施することで、個

人情報の属性・件数・管理者・保管状態などを把握します。

2016年度における機密情報の漏洩はありませんでしたが、お客様情報の紛失が1件発生しました。不正に利用された等の連絡は入っていませんが、お客様への誠意を持った対応と今後の再発防止に努めてまいります。

デサントは、サプライヤーの皆様と公正なパートナーシップを築き、人権や労働条件の改善、環境保全に協力し、共に発展していきたいと考えます。そのために、すべての仕入先と「デサント・サプライヤーCoC(取引行動規範)」の誓約を交わし、また工場のCSR監査も実施しています。

2016年度 第三者機関によるCSR監査結果

2016年度は13工場に対しCSR監査を実施しました。指摘された項目に関して仕入先および工場と連携して、是正計画を練って改善に取り組みました。

▶ 監査項目

1. 児童および未成年労働、2. 強制労働、3. 安全衛生、4. 結社の自由、5. 差別、6. 懲戒慣行、7. 労働時間、8. 賃金、9. 環境、10. コンプライアンス

▶ 国別実施工場

中国5 / ミャンマー3 / ベトナム2 / インドネシア1 / バングラデシュ1 / 日本1

▶ アイテム別の不適合比率

生産アイテム	2016年度監査実施工場数	不適合が全項目の10%未満	不適合が全項目の10%以上	不適合が全項目の20%以上
ウェア	11	6	4	1
シューズ	1	0	0	1
アクセサリ	1	1	0	0
計	13	7	4	2

2011～2016年度累計

▶ 国別実施工場

中国64 / ベトナム17 / ミャンマー9 / インドネシア7 / タイ2 / バングラデシュ1 / 日本1

▶ アイテム別の不適合比率

生産アイテム	年度別工場数						不適合が全項目の10%未満	不適合が全項目の10～19%	不適合が全項目の20%以上
	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度			
ウェア	11	19	11	14	10	11	41	25	12
シューズ	1	2	4	1	1	1	3	3	4
アクセサリ	0	5	4	1	2	1	8	4	1
計	12	26	19	16	13	13	52	32	17

デサント・サプライヤーCoC (取引行動規範)

当社の取引行動規範について、世界スポーツ用品工業連盟(WFSGI)の行動規範に基づき次の内容で決めました。

1. 法律の遵守
2. 労働条件
 - ① 強制労働
 - ② 差別
 - ③ 組織及び団体交渉の自由
 - ④ 賃金
 - ⑤ 労働時間
 - ⑥ 権利と休暇
 - ⑦ 児童労働
 - ⑧ 健康と安全
 - ⑨ 嫌がらせあるいは虐待
3. 環境
4. 地域社会との係わり合い
5. 企業内の独自の規範
6. 証明
7. 遵守



適切な個人用防護具を着用する裁断工程



工場の各エリアに表示されている避難経路



個人用防護具着用のサイン



衛生的で安全な縫製工場の社員食堂

デサントは、環境経営の指針として「デサント環境基本理念」「デサント環境方針」を定めるとともに、取締役を中心に構成される「環境委員会」を設置しています。環境委員会のもとに環境保全活動を推進するためにISO14001分科会とEチャレンジ分科会を置き、環境負荷・環境リスクを低減するとともに、それらの発生を予防するための行動を積極的・継続的に行っています。

環境基本理念と環境方針

▶「デサント環境基本理念」

デサントは、地球環境保全が最重要課題の一つであることを認識し、企業活動のあらゆる面で積極的・継続的に環境保全に配慮して行動する。

▶「デサント環境方針」

デサント環境基本理念に基づき、環境保全活動を推進し、環境負荷・環境リスクを低減し、その発生を予防するための行動を積極的・継続的に行う為に、下記の事項を定める。

1. 環境保全活動を推進させるため、「環境委員会」を設置する。
2. 環境関連の法律・規制・協定等を遵守し、環境保全に取り組む。
3. 省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物の削減に、全ての領域で取り組む。
4. 事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経済的に可能な範囲で、目的・目標を設定して全員で取り組み、その結果を見直して継続的改善・向上を図る。
5. 環境負荷低減型の商品開発、商品づくりを行う。
6. 環境監査を実施し、環境管理の維持向上に努める。
7. 環境教育を実施し、全従業員の環境方針の理解と、環境に関する意識向上を図る。
8. 環境基本理念、環境方針及び環境保全の実施状況については、必要に応じて公開する。

CO₂排出量の削減目標

2016年度のCO₂排出量目標は791t-CO₂。これは2015年度から13t-CO₂の削減目標でしたが、実績は786t-CO₂となり達成できました。2008年度から2016年度までで306t-CO₂の削減となりました。2016年度は東京オフィスの空調設備を順次更新し、電力量の削減を主に、CO₂の削減が図れました。削減に向けた日常の取り組みを維持するとともに各設備の効率を高める投資を進めていきます。

環境保全取り組み事例

▶西都工場の太陽光発電システムが順調に稼働

デサントアパレル株式会社 西都工場に設置した太陽光発電システムがこの一年間に発電した電気量は、およそ60,800kWh(2015年度比101%)。これは、西都工場で一年間に消費する総電力の13.5%に当たります。

▶廃棄繊維をリサイクルし軽量土壌として再生化

デサントアパレルの各工場から出る裁断端切れや廃番生地を回収し、植物栽培用の軽量土壌に再生する取り組みに参加しています。2016年度は、総量で約8トン再生土壌化しました。



西都工場の敷地内に設置された太陽光パネル



当社工場の裁断端切れを再生した軽量土壌のプランター

2016年度 国内事業所別CO₂排出量

単位：t-CO₂

事業所名	実績
大阪オフィス	309.0
東京オフィス	446.9
札幌支店	5.3
仙台営業所	5.0
名古屋支店	13.0
広島営業所	1.8
福岡支店	5.2
全社計	786.2

要素別排出量

単位：t-CO₂

要素	実績
電気	540.9
ガス	221.7
水道	5.0
ゴミ	18.6
計	786.2

CO₂排出量の推移



DESCENTE



コーポレートシンボルマークの由来

DESCENTEとは、フランス語で「滑降」の意味。
スピリットマークは、スキーの基本技術である直滑降、斜滑降、横滑りを表現しています。
つねに最もすぐれたものに目を向け、時代の要求を先取りし、
積極的に製品化していく果敢なデサントスピリットのシンボルです。



コミュニケーション・オン・
プログレス

国連グローバル・コンパクトの原則の実践
状況および国連の様々な目標の支持につい
て、この**コミュニケーション・オン・プログレス**
を通じて報告しています。

内容に関するご感想・ご意見を歓迎します。

本レポートに関するお問い合わせ

株式会社デサント CSR室
TEL:06-6774-0327/FAX:06-6774-2605

当社CSRサイト

<http://www.descente.co.jp/company/csr/>